

本四高速によると、3月動車道の6月の通行台数は285万台。神戸淡路鳴門道は前年比14.8%減の133万台6千台、香川、岡山

は前年比15.4%減の14万台、瀬戸中央道は13.1%減の76万台、西瀬戸道は10.1%減の88万台だつた。料金収入など

万7千台 神戸淡路鳴門道 波海南—海部間1.5%を編入して10%に延長する鉄道事業許可を国土交通省四国運輸局に申請した。JR四国は同日、阿波海南—海

部間の廃止届を同局に提出月、JR四国が所有する阿波海南—海路、トンネルなどを阿佐海鉄道に譲渡することで合意していた。譲渡金額は調

JR四国と協議 昨年12月、JR四国が所有する阿波海南—海路、トンネルなどを阿佐海鉄道に譲渡することで合意していた。譲渡金額は調査で、県外からの新規依頼が増えている=鳴門市内の靈園

シモンズ(東京都墨田区)

コロナ禍 広がる帰省自粛

墓参り代行 依頼増

新型コロナウイルスの感染拡大で、お盆の帰省自粛が広がる中、墓参りの代行サービスが注目されている。県内の代行業者には県外在住者からの新規依頼がじわりと増えており、「帰省できない方のお役に立ちたい」と墓の清掃に汗を流している。

2017年に墓参り代行

藍住町出身で東京都在住

サービス「墓っちゃん」を始めた墓石製造販売のハマダ石材(鳴門市大麻町桧)の男性(53)は、毎年父の墓参りのために帰省していたが今年は断念した。「地元には、7月半ばから東京や岡山、大阪などから問い合わせが増えた。代行は8月上旬ごろに実施しており、今夏の依頼は22件で、前年比7件の増。新規は10件で、うち7件が県外在住者からの依頼という。

濱田雅善社長(58)は「例年は新規が2、3件程度なので今年は多い」と驚く。

「本来は自分で墓参りして近況報告などもしたいだろう。代わりに心を込めてお

う。代わりに心を込めてお参りさせてもらう」

同社では6日、帰省でき

気持ち込めて清掃作業



お墓の清掃を行う墓参り代行業者。新型コロナウイルスの影響で、県外からの新規依頼が増えている=鳴門市内の靈園

ない人や外出を控えている人に向けてオンラインで相談できるシステムを導入している。岸本耕三社長(55)は「新たに専門知識を持つた仏事務所が、これまでの相談、仏壇仏具の紹介などをチャットやビデオ通話で手助けになれば良い」と話した。(大塚康代)